

2. 指標設定

成果指標	指標名	生涯学習機会の提供		H27	指標の設定理由			
	数値	—			総合計画・後期基本計画(基本施策 5-1-1)による			
活動指標	指標	a	自主クラブ数	b	公民館講座・教室数	c		d
	数値	目標	210件	目標	50件	目標		目標

3. 実績(上段・実績/下段・達成率)

成果指標名	単位	H22	H23	H24
生涯学習機会の提供		—	—	—
		—	—	—

活動指標名	単位	H22	H23	H24
a 自主クラブ数	件	194 件	216 件	212 件
		92.4 %	102.8 %	100.9 %
b 公民館講座・教室数	件	55 件	53 件	55 件
		110.0 %	106.0 %	110.0 %
c		—	—	—
		—	—	—
d		—	—	—
		—	—	—

4. 課題と対応

課題
領域別社会教育事業及び生涯学習事業への参加者が固定の傾向にある。また分館の廃止について地元と協議中。
対応(改善点等)
効果的な公民館運営方法の検討及び住民が自ら学習に取り組むための支援に取り組む。また、分館の廃止について地元と協議中であるが、早目の対応が必要。

5. 事業費・・・H22～H24(決算額)、H25(予算現額)

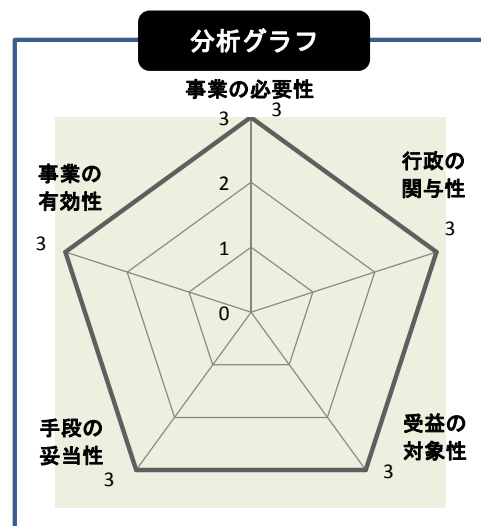
決算額(千円)		H22	H23	H24	H25
		103,246	96,420	67,596	67,524
うち経常経費		65,979	67,791	60,397	60,960
財源内訳	国費	32,449	11,600		
	県費				
	市債				
	その他	3,183	4,018	3,275	2,481
	一般財源	67,614	80,802	64,321	65,043
	うち経常	62,047	63,773	57,153	58,479
事業費に係る人件費		65,696	51,600	46,416	49,298
事業費に係る人役		15.00	12.00	10.81	11.31

6. H26年度予算の方向性

方向性
減額
理由
5ヶ年の削減計画に基づき削減

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 市民の健康と生きがい、コミュニティづくりに必要である
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 法令に定められている
③ 受益の対象性	事業対象の確認	3 パンフレットの全戸配布、市報等により全市民に呼びかけている
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 総合計画の項目であり妥当である
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3 社会教育及び生涯学習の振興に寄与している



8. 内部評価委員会評価(委員会評価)

事業の方向性	評価内容
継続	課題に対応し、公共施設の見直し方針に則り業務を進めるとともに、個別進捗状況の整理を行うこと。(分館)